

二宮町議会だより第200号記念特集

議員のOB会（議友会）の歴代会長に、二宮町議会の印象的な出来事を語っていただきました。

議会だより200号記念おめでとう

ございます

西山 伊三郎



今から32年前（16年にわたり76歳の退職まで）お世話になりました。

議員時代、たくさんある中で印象に残ること、それは、北口商店街のバス一方通行の件。道

幅が狭いため、車と人がスレスレに通行している様子・・・とても危険でした。今では、バス優先の朝の時間帯が定着しスムーズに運行している様子に安心しています。

まだまだ、課題は出てくると思いますがこれからも「誰もが安心して住める町！」に町議会議員の皆さまのご活躍を期待しております。



まだ課題が残る駅周辺の商店街

自然のバランスが大切と強く感じる

井上 進



私が議員を務めた時期は、柳川氏、西山氏、古澤氏の3町長の任期にわたります。1978年に二宮高校が設立され、PTA会長を務めました。その後、議員を務めることになりました。

在任中、せせらぎ公園を「ふるさと創生事業」の1億円で整備した事は良く覚えています。小田原市小竹から続く山林・谷戸の地形と田・山林などの様子を残すべきだと、議員で話し合って進めました。

近隣の漁獲量減少は、葛川も含めて流れ込む河川の上流で森林がなくなり、海に流れ込む栄養分が減ったことも一因だと思います。自然のバランスの大切さを改めて思います。



季節にはハナショウブ、ホテルを楽しめる

信頼関係を生かした調整で

ごみ問題解決

西山 幹男



私は4期16年にわたり議員として活動しました。初当選したときの喜びは今も忘れられません。

議友会の思い出は石川県を一泊で訪れたことが心に残っています。

議長職では、自らが目立つの

ではなく、議員一人一人が力を発揮できるよう支えることを大切にしてきました。

特に、町のごみ焼却場が使用できなくなった際には、平塚市の焼却場そばの市民団体の皆さまに理解をお願いし、自ら築いた信頼関係を生かした調整により、課題解決へつなげることができたことが印象に残っています。



ごみ焼却は広域化となり町のごみは積みかえて運ぶ

地域とともに

井上 良光



学び舎だった一色分校が廃校になり久しく荒廃していたなか、町の北部の町民活動の場として防災の拠点として新たにコミュニティセンターを建設して欲しい旨の一般質問を行ったところ、町はすでに五カ所に建設してきたのでこれ以上の施設は作らないとのことでした。

地区で相談したら地区長から署名を伴った請願書を出そうということで、一色はもとより緑が丘、一部百合が丘の人々に協力を求め、署名を付けた請願書を議会に提出し採択されました。これを受け、町は重い腰をあげ現在の一色コミセンが建設されました。利用しやすい施設として好評です。

地域の人々との連携で達成できた事が私の喜びです。



一色防災コミュニティセンター竣工式(平成21年5月)